

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHApage>

facebook



vol 437

Apr 2024



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
VETERINARY STAFF STATION	3~5
CAPP&INSTRUCTOR STATION	6
JAHA STATION	7
News&Information	8

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



監事 西村亮平

「少犬化時代の獣医療に求められるもの」

最近の我が国における獣医療の経営状況は、厳しさが増しているようです。資材、薬剤、光熱水料等の高騰や人件費上昇を含めた人事管理の難しさ、コンプライアンス順守のためのコスト上昇など頭の痛い問題は数えればきりがありません。さらに急激に進む少犬化が追い打ちをかける状況ですので、これからは選ばれる病院となるための特色、魅力を鮮明にしていくことがますます重要になってくるのではないのでしょうか。

近年の人医療はEvidence Based Medicine (EBM) を柱に飛躍的な発展を遂げてきましたし、獣医療も同じ道を歩んできました。しかし、これが過剰に進むと心の側面が置き去りにされる状況が生み出されやすくなり、医療者と患者の信頼関係の維持に悪影響を及ぼしかねないという問題が指摘されるようになりました。これは獣医療者、飼い主、動物と三者が絡み、人の様な充実した医療保険システムを持たない獣医療ではより大きな問題として捉える必要があると思います。このような状況の中で2000年ごろからNarrative Based Medicine (NBM) という考え方が提唱されるようになりました。Narrative(ナラティブ)とは物語や語りと訳されることが多いと思いますが、その意味するところはこれらの言葉だけでは表現できない複雑な側面も持っています。

人はそれぞれ自分の“物語り”を生きており、自分の病気

だけでなく、共に暮らす犬や猫の病気もまた物語りの一部となります。このため治療が困難であったり、高齢な動物の場合にはとくに飼い主との丁寧な会話の中で飼い主の紡ぐ物語をよく理解し、今後の治療に活かしていくNBMが大切になっていくと思います。最近では富裕層が増加する一方で、低賃金に喘ぐ層も増大しており、経済的理由で積極的な治療をあきらめざるを得ない状況も増加するものと思われます。そのような状況の中で、いかに飼い主と動物の物語を良い方向に導くかも重要になるでしょう。一方、ナラティブは臨床心理、医療、ビジネスなどで有効に使われるポジティブな側面もありますが、米国大統領の選挙戦や英国のEUからの離脱(ブレグジット)などで大衆心理を操作するために使われたという負の側面も持つ、影響力の大きな手法であることも理解しておくことが重要です。

このように今後の獣医療においてNBMは一つの重要な方向性になると思われますが、エビデンスに基づかないナラティブはただの口のうまい獣医療になりかねず、様々な情報が容易に手に入る現代ではすぐに見透かされてしまいます。したがってこれからの獣医療者は、十分なエビデンスを持ったうえで、これに基づいてナラティブを作り上げていく必要があり、より高度なスキルが求められるようになると思います。JAHAIは、このスキル向上にうってつけの場です。最先端の臨床の知識を得られるだけでなく、動物との上手な共生を考えたり、法令やコンプライアンス順守に関する知識も幅広く吸収することができます。これらの幅広い知識やスキルがNBMには欠かせません。時代は自分が思っているよりも遥かに速いスピードで変化しています。変化にしっかり対応し、最高の物語を作り出すことのできる獣医師や愛玩動物看護師を目指しましょう。

— 今月の表紙 —

「君から目が離せない」

高倉 綾子 様



法人賛助会員 「株式会社 WorkVision」

JAHA法人賛助会員様に、JAHAへの思い、活動への協力や取り組み等についてお伺いします。

JAHA会員病院の獣医師の皆様、初めまして。株式会社WorkVisionと申します。弊社は元・東芝グループの500名規模のIT企業で、民需・公共・医療分野において、50年超、日本全国でのコンピュータシステム販売(ソリューションサービス)のご提供を行っております。

現在、動物病院業界には変革の波が来ています。人材確保や待遇といった人の問題、飼育頭数と動物病院数の比率変化に伴う病院間競争の激化、ペットを家族と考える飼主様が増え病院代や受診率が高くなる一方で情報収集能力にも長け、「治療費に見合う満足度」を重視するなど、情勢は大きく変化しています。治療の腕のみならず、説明の丁寧さ・時間厳守・付加価値サービスなどが求められ、それにより「選ばれる病院/選ばれない病院」が生まれ始めています。

実は当社は獣医療は「門外漢」です。しかし、ある担当者の「コロナ禍の真冬の夜に予約済の動物病院の外で2時間待ちした」ことをきっかけに、JAHAをはじめ全国の動物病院様へインタビュー行脚や共同実証するなど、独自の調査を行いました。そして、「動物病院業界はIT化の底上げの必要性がある。しかし高額で難解なものではなく、現在の課題を解決し効果を体感しながら、より高度に成長してもいい。敷居の低さと将来性を兼ね備えたものであるべき」と考えました。

「選ばれる病院」になるには、院内の間接業務を減らし、病院に「時間を生み出す」ことが第一歩です。これにより、飼主様の待ち時間を減らしたり説明を丁寧にしたりして顧客満足度向上に繋げることも、スタッフの待遇改善や残業代抑制に繋げることも、学習時間に充て新サービスや獣医師のスキルアップに繋げることもできます。

間接業務で大きなウェイトを占めるのは「紙の管理」です。問診票に始まり、同意書、診療記録など、それらの保管・整理や転記作業といった「生産性はないが時間は食う」業務が多いことには、どの病院様もご共感いただけるのではないのでしょうか。電子カルテをご導入の病院でも、診察時にはペットへの配慮から紙に書いて後で入力する、という運用をされていることが大半です。これらは1つ1つは数分でも、病院全体・年間でみれば莫大です。

このコンセプトで生まれた「ARTERIA AXIA(アルテリア アクシア)動物病院」は、「PDF 記入様式にiPad で手書き入力した文書を電子カルテに自動保存できるクラウドサービス」です。ペットコミュニケーションズ株式会社様の「Ahmics Advance V4」と連携しており、カルテへの転記作業そのものをなくすことができます。

記入する様式に制限はなく病院で自由に追加可能です。現在の様式そのままも再現できます。診療記録として使えば、iPadのカメラで患部を撮影してその上に記入することができ、問診票として用いれば院内で紙回付せず診療開始できます。同意書としてであれば、筆跡鑑定可能な署名機能をご利用いただけます。紙の代替としての保管や電子署名の法的有効性も弁護士により確認済みです。高齢の飼主様にお使いいただく場合も拡大入力できるので安心です。

本サービスは、ヒト病院で実際に使用されている高機能なシステムを機能を絞り仕立てることで、品質や安全性はヒト病院同等としながら、比較にならない低価格を実現しています。敷居が低い上に使い方の自由度が高く、電子カルテの活用に悩んでいた病院様へもおすすめです。

弊社は引き続き、ITの視点で飼主様やペットも含む業界全体への貢献を続けてまいります。

「ARTERIA AXIA 動物病院」
(ペットコミュニケーションズ株式会社様より販売しております。お問い合わせはinfo@ahmics.comへ)

iPad手書き文書を
自動でカルテへ!
スキャン・転記いらずで事務作業を大幅削減!

ARTERIA AXIA
電子カルテに
自動添付

Ahmics V4

記入様式を
病院で自由に
作成(PDF)

iPadで
様式の上に
手書き記入

「iPadで記入→カルテへ自動添付」
シンプルだからこそ使いやすい!

紙感覚で
手書き

iPadで
撮影可



こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を受講された皆様に「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して～私の夢～」をテーマに、熱い想いをつづっていただきました。



私の夢

ほさか動物病院 田中彩瑛



私は幼い時から動物好きで、小学4年生の時に念願だった犬を飼うことができました。3年前にお別れしましたが、愛犬モカは私の生きがいそのもので、たくさんの幸せを与えてくれました。楽しい時も、辛い時も、いつだってモカはそばにいてくれました。モカと過ごした日々は私にとって大切な宝物です。

将来は動物に関わる仕事がしたいと考え、大学受験の時に動物看護師になることを決めました。私がパピークラスに興味を持ったきっかけは、大学在学中にアルバイトで訪れた動物病院での出来事です。おばあさんが可愛い子犬を連れてご来院されたのですが、おばあさんは、犬を飼うのが初めてのようで、適正飼養が全く分かっていないようでした。それを見て私は、子犬が可哀想だと感じ、動物看護師として何かできることはないかと考えました。その時に知ったのが、パピークラスです。実際に動物病院のパピークラスを見学して、適正飼養に関する内容が組み込まれており、「まさに私がやりたかったことだ！」と感じました。

就職先は、パピークラスを開催している現在の病院を選びました。日常業務では、病気の動物を診ることがほとんどで、辛い気持ちになることもあります。しかし、クラスでは元気で可愛い子犬と接し、とても幸せです。クラスの運営に携わったばかりのころは、飼い主さんの悩みに対して答えることができないことが多かったのですが、実践コースに参加して、自信を持って悩みに答えることができている、実践コースに参加して本当に良かったと思っています。

もう一つ、私には夢があります。それはCAPP活動に携わることです。私自身、これまでの人生で、心が疲れてしまうことが何度もありましたが、その時に助けてくれたのは間違いなく愛犬の存在です。動物が持つその力を活かすことができるこの活動を通して、多くの人の力になりたいと考えています。

これからも、動物看護師として、多くの動物と人の幸せな暮らしのサポートができるよう、精一杯頑張ります！



なごみ豆知識!!

所得税・住民税の定額減税(特別控除)について

陽春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。
今回は令和6年度税制改正のうち、所得税・住民税の定額減税(特別控除)についてご説明致します。

【定額減税の対象者】

令和6年分所得税について、定額減税の適用を受けることができる人は、令和6年分所得税の納税者である居住者で、令和6年分の所得税に係る合計所得金額が1,805万円以下である人です。(個人住民税については、令和5年分の合計所得金額)

【定額減税額】

定額減税の額は、次の金額の合計額です。

ただし、その合計額がその人の所得税額を超える場合には、控除される金額は、その所得税額が限度となります。

①本人 所得税30,000円、個人住民税10,000円

②同一生計配偶者及び扶養親族(16歳未満も含む) 1人につき所得税30,000円、個人住民税10,000円

【定額減税の実施方法】

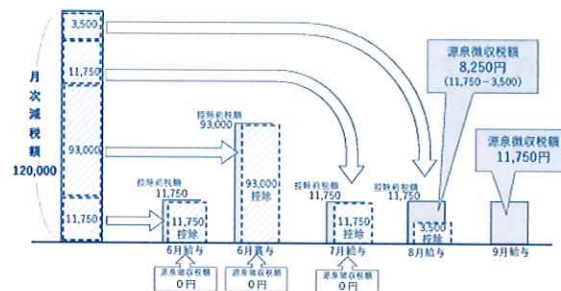
(イ)給与所得者の場合(令和6年6月1日現在勤務している人のうち、源泉徴収税額表の甲欄が適用されている人が対象)

<所得税>

令和6年6月1日以後最初に支給される給与等(賞与を含む)の源泉徴収税額から定額減税の額を控除します。
控除しきれない場合は、以後令和6年中に支給される給与等の源泉徴収税額から順次控除します。

※なお、令和6年の合計所得金額が1,805万円を超える見込みの方も6月以降の給与等の支払いの段階では控除の適用を受け、年末調整もしくは、確定申告で精算を行うこととなります。また、6月2日以降雇用された方は年末調整にて定額減税の適用を受けます。

[計算例]



(参考:国税庁HP <https://www.nta.go.jp/publication/pamph/gensen/0023012-317.pdf>)
※定額減税額が120,000円で、6月給与で控除しきれなかった例

<個人住民税>

令和6年6月の給与支給時には特別徴収は行わず、定額減税の額を控除した後の個人住民税の額の11分の1の額を令和6年7月から令和7年5月まで毎月徴収します。

(ロ)事業所得者等の場合

<所得税>

令和6年分の所得税の第1期分予定納税額から本人分の定額減税額を控除します。

(予定納税の減額申請により、同一生計配偶者等の定額減税額も控除できます。)

<個人住民税>

令和6年分の個人住民税の第1期分の納付額から減税額を控除します。

また、控除しきれなければ、2期目以降から順次控除します。

今回は所得税・住民税の定額減税をご紹介いたしました。場合によっては、給与システムの改修等のご準備が必要となる場合も

考えられます。もしご不明な点等ございましたらぜひ一度、税理士等の専門家にご相談ください。

2024年 1月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
青森県	鶴ヶ丘苑【村田道子・保木明彦(V)】	24	1		8	4			
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	15	1		4	5			
	おひさまハウス柏【市川美雪・形部智(V)】	27	1	1	3	4			
東京都	シーダウォーク【海村昌世・小林豊和(V)】	24		1	13	1	10	1	
	デイサービスD.Festa立川【中島千恵・天野祐太(V)】	16		1	2	3			
	浴風会 浴風園【風祭紀子・竹中晶子(VN)】	18		1	9	1	6		
	くめがわ翔裕園【永島憲子・富中道昭(V)】	19			7	6			
	やはら翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	25	1		7	1	7		
神奈川県	ラポール藤沢【水谷渉(V)】	18	3	1	1	2	1	2	
	ふれあいの森【水谷渉(V)】	25	3		2	1	2	2	
	旭ホーム【水谷渉(V)】	7	2	2	2	3	1	3	
	ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	21			1	1	1		
	ひとりざわ【三宮裕子・澤柳千(V)】	25			6	5			
大阪府	翼さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	21	3		7	4	8		
香川県	青の山荘【大林西子(V)】	17	2		9	8			
合計		15回	17	7	81	8	73	5	7

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
千葉県	おおたかの森センターこども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	14	2	1	8	1	6		
東京都	立川市立若葉台小学校【石川幸子(V)】	15	1		16		10		
宮城県	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	15			3		6		
		22			2		2		
	宮崎市立宮崎南小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	18			2		6		
合計		5回	3	1	31	1	30	0	0

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	9	1	3	1	3	4		
神奈川県	ちがさきの木魂【水谷渉(V)】	11	2	1	2		2	2	
合計		2回	3	4	3	3	6	2	1

病院等

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
千葉県	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	17	1		3		3		
東京都	東京衛生ドッグズ病院【竹中晶子(VN)】	5		1	1		1	1	
		12		2	1		2	1	
		19		1	1		1	1	
		26		1	2		2	1	
	信愛病院AAA【後藤三枝子・柴内裕子(V)】	9		1	10		6		
	長谷川病院【浅原久子】	19			5		5		
神奈川県	横浜市立大学附属病院【三宮裕子・澤柳千(V)】	17	1		2		2		
愛知県	愛知県医療総合センター【梅村由佳理・夏目里枝子(V)】	19			4		2		
	岡崎市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	31			5		3		
	あいち小児保健医療総合センター【廣瀬佳代(V)】	10			2		2		
兵庫県	六甲病院【熊井恵子・村田香織(V)】	10	1		4		5		
	神戸アドベンチスト病院ホスピス(P)【石井孝子】	17			1		1		
		31			1		1		
合計		14	3	6	42	0	36	4	0

	活動回数	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
1月合計	36回	26	18	157	12	145	11	8

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護師

CAPP活動で医療機関に訪問する動物の腸内・口腔内細菌検査の価格改定について

CAPP活動で医療機関への訪問をする動物には、6ヶ月ごとの健康診断書のご提出に加えて腸内細菌検査(小児病棟への訪問はさらに口腔内細菌検査)の実施をお願いしております。

2024年4月より、こちらの価格が改定となりますのでお知らせいたします。

* 検査依頼先: 株式会社中部衛生検査センター

* CAPP活動参加のために必要な検査で、JAHAを通して検査を依頼した場合の価格です。

* 医療機関へ訪問する動物の検査はJAHAで費用負担をしておりますので、該当するボランティアの方への検査費の請求はございません。

2024年4月より～

腸内細菌検査 : 3,900円

口腔内細菌検査 : 3,300円 (いずれも税別)

検査が必要な場合はJAHA事務局までご連絡ください。

素敵なカレンダーをいただきました

千葉こども病院でのCAPP活動をサポートしてくださっている認定NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアズ様から今年も素敵なカレンダーをいただきました。訪問活動で犬とふれあいを楽しんだお子さんたちが描いた絵や活動犬と一緒に映ったお写真が掲載されているカレンダーを毎年事務局とボランティアの皆様にお送りいただいております。

コロナ禍の最中はこども病院への訪問活動を休止しておりましたが、チームリーダーの佐々木先生をはじめとしたCAPP活動に携わる皆様のご尽力により、23年3月より活動を再開することができました。改めて御礼申し上げます。



新入会 ~正会員 紹介~

ガレン動物病院

〈入会〉2024年2月
 〈入会区分〉動物病院会員B
 〈住所〉静岡県駿東郡清水町八幡61-1
 TEL:055-972-6770
 〈正会員〉奈倉 正典

エルザ動物医療センター

〈入会〉2024年2月
 〈入会区分〉動物病院会員A
 〈住所〉兵庫県姫路市下手野1-110-1
 TEL:079-297-8181
 〈正会員〉中田 雄三

ナカジマ動物病院

〈入会〉2024年2月
 〈入会区分〉動物病院会員B
 〈住所〉大阪府大阪市旭区中宮5-6-28
 TEL:06-6954-1010
 〈正会員〉中嶋 佑治

会議録

令和5年度 第2回CAPP委員会 会議録

日時: 令和6年2月8日(木) 13:00~15:15
 開催方法: Zoom
 出席者:
 理事: 吉田尚子、千葉陽子
 CAPP委員長: 本田善久
 CAPP委員: 大林杏子、後藤三枝子、三宮裕子、中村悟、新山亮
 相談役: 柴内裕子
 事務局: 山内和美
 検討事項:
 1) 2024年次大会について

2) 寄付の使い道について(前回からの進捗)
報告事項:
 1) リハビリテーションカレッジ島根での授業実施について
 2) 東洋大学からのご依頼
 3) 調査研究協力依頼の経過報告
 4) 訪問先施設が活動の様子をSNSへ掲載する際の注意について
 5) 中部衛生検査センター 検査費用の価格改定
 6) その他

会議録

令和5年度 第2回広報委員会 会議録

日時: 2024年2月13日(火) 16:00~18:00
 形式: オンライン(zoom)
 出席者(敬称略):
 会長: 宗像俊太郎
 副会長: 上野弘道
 専務理事: 水野浩茂
 理事: 吉田尚子
 委員: 浅井亮太、大石太郎、舘澤仁、豊田陽一
 事務局: 横川、山内、伊藤
 オプザーブ参加: 株式会社HUMO 永瀬様、高濱様、株式会社VETS

TECH 小出様
協議内容:
 1. JAHAの各種SNS(Facebook, Instagram, LINE)の運用状況と今後の改善について
 ・前回会議以降の進捗等を事務局より報告
 2. 執行部の方針、広報委員会としての目標設定等について
報告事項:
 1. ニュースレターについてのアンケート結果
 2. JAHA協会案内リーフレット(後日送付)
 3. クリスタル・ウィ・アンサンブルからの協力依頼事項

会議録

令和5年度 第2回JAHA認定インストラクターミーティング 会議録

日時: 2024年2月15日(木) 20:00~21:00
 形式: オンライン出席者: 56名
 養成講座委員長: 水越美奈
 司会: 羽金道代
JAHA認定家庭犬しつけインストラクター:
 青木美佐、浅賀慶子、荒井隆嘉、石田千晴、板本豊実、岩田和子、上野剛文、内田希、浦野裕美、大畑奈緒美、岡田友里香、押切千夏、乙部美智子、金川英樹、金田妙子、狩野誠、北村理恵子、倉科美穂、古賀美帆、小西伴彦、斉藤富士雄、佐藤亮、座間利恵、白井希代子、隅田久美子、副島美穂、曾我玲子、高山美左、田崎君子、谷口和代、築山清美、辻美智子、坪井芳

子、中島直彦、中塚圭子、永森聖、中山由貴、西川文二、西村亜湖、野口ゆづる、林英代、藤川裕子、宮美代子、村田香織、持永陽子、森竜一、森山知加子、矢崎潤、保久留美子、山口恭子、山下恵、湯浅倫枝、渡辺理恵
 事務局: 黒田良子
内容:
 1. 委員長挨拶
 2. インストラクター養成コースに関するお知らせ
 3. ドッグトレーニングに関わる最新の動向について
 4. 意見交換

会議録

令和5年度 第2回学術委員会 会議録

日時: 2024年2月16日(金) 12:30-13:50(オンライン)
 開催方式: Zoom
 出席者(敬称略):
 学術委員長: 小山田和央
 学術委員: 重田界、中條哲也、有藤翔平
 理事役員: 宗像俊太郎、秋吉秀保、横山篤司
 事務局: 伊藤啓美、加藤恵理子
 欠席者(敬称略): 吉田宗則、篠田仁美
協議事項:
 1. 2023年度終了セミナーの振り返りおよび開催中セミナーの開催状況について報告

・Dr. Diane Sheltonによる神経病学セミナー
 ・Dr. Timothy Bentleyによる神経外科セミナー
 ・Dr. 松山 新による腫瘍学セミナー
 ・Dr. Bryden Stanleyによる腹部/軟部外科セミナー
 ・Dr. Etienne Cote, Dr. Marisa Ames, Dr. Lauren Markovicによる心臓病学セミナー
 2. 2024年度実施予定のセミナーの現状確認および実施内容
 3. 2025年度実施の国際セミナーについて実施予定内容の協議現状の確認
 4. ワークショップの開催についての意見交換
 5. 国際セミナーの優待参加制度について意見交換

セミナー予定

●新人研修セミナー・オンライン(全2回)

講師:磯部裕子先生
 日程:4月3日(水)・4月10日(水)
 内容:
 1. 社会人の心構え
 2. ホスピタリティの心とその表現方法の基本
 3. 仕事に早く慣れるために

●オンライン国際セミナー「麻酔」

講師:久代季子先生(Midwestern University)
 形式:Zoomを使用したライブ配信
 日程:5月17日(金)、18日(土)9:00~12:00

●第175国際セミナー「胸部外科」

講師:徳永暁先生(JASMINEどうぶつ循環器病センター)
 日程:
 東京会場:9月7日(土)、8日(日)
 大阪会場:9月14日(土)、15日(日)

●第176回国際セミナー「消化器病」

講師:Dr. Jan Suchodolski(Texas A&M University)
 日程:
 東京会場:11月16日(土)~18日(月)
 大阪会場:11月20日(水)~22日(金)

後援催事等

●インターペット東京2024

日程:4月4日~7日
 対象:小売業、流通業、動物病院、サービス業、学校関係者、プレスなど
 会場:東京ビックサイト
 問い合わせ先:info@interpets.jp

●インターペット大阪2024

日程:9月20日~22日
 対象:小売業、流通業、動物病院、サービス業、学校関係者、プレスなど
 会場:インテックス大阪4号館5号館
 問い合わせ先:info@interpets.jp

●介助犬フェスタ2024

開催日:令和6年5月18日(土)11時~15時予定
 開催場所:愛・地球博記念公園 地球市民交流センター
 主催:社会福祉法人 日本介助犬協会
 目的:介助犬と身体障害者補助犬法についての認知向上、普及啓発および障がい者や補助犬に対する理解と啓蒙
 内容:
 ①介助犬デモンストレーション
 ②介助犬使用者インタビュー
 ③公益的活動紹介など

会員数(令和6年2月29日現在) 合計8,371名

動物病院会員A	412病院	勤務獣医師会員	1,703名
動物病院会員B	251病院	勤務動物看護職員	4,789名
個人正会員	5名	学生会員	31名
名誉会員	2名	サポート会員	703名
個人獣医師会員	99名	施設賛助会員	158施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	70社
学術会員	147名		

JAHA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上!

■新着動画

~過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中~
 動画配信専用コンテンツもあります

経営情報<労務>

第108回

「法改正に伴う募集時と採用時の留意点」について

社会保険労務士法人 和 (なごみ)
 社会保険労務士 芦原 智子 先生



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。
 オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、
 セミナー開催が厳しい状況が続く今、皆様への学習機会提供の一助と
 なれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちらから
 (正会員病院の限定サービスです)
 ※アカウントをお持ちでない方は、以下のリンクより
 「サービスのご案内」をご確認ください。

<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>

症例発表会 演題募集のご案内

症例発表は、JAHA認定医の受験資格に必要な症例発表実績として認められます。

今年は、オンラインでの単独開催(7月頃)と年次大会プログラムとして対面開催(11月)の2回開催します。

【オンライン症例発表会2024】

開催日:7月中旬(日程調整中)
 開催方法:オンライン(ZOOM)
 演題締切:5月20日(月)
 抄録・スライド締切:7月1日(月)
 ※2024年の認定試験受験を目指している方向け

【年次大会プログラム】

開催日:11月2日または3日(調整中)
 演題募集開始:6月3日(月)
 演題締切:8月30日(金)
 抄録・スライド締切:10月10日(木)
 ※対面発表のトレーニングとして最適です。



現在、オンライン症例発表会の演題を募集しています。
 詳細・申込はこちらから

《事務局日誌 / 2月》

1日	木	JAHA会員特別オンラインセミナー「論文作成の重要性について —論文が受理されるためのポイント—」 講師:林慶先生 司会:宗像俊太郎先生 担当:加藤
4日	日	オンラインセミナー「2024年 循環器駅伝:命のバトンを繋げるためのトリプル・セミナー Day 2」 講師:Dr. Marisa Ames 司会:重田界先生 担当:加藤
7日	水	CAPPボランティア講習会・オンライン 講師:風祭紀子さん、三宮裕子さん 担当:山内
8日	木	CAPP委員会
9日	金	執行役員会
13日	火	広報委員会
15日	木	JAHA認定家庭犬しつけインストラクターミーティング
16日	金	学術委員会 担当:加藤
18日	日	JAHA認定こいぬこねこ教育アドバイザーミーティング
21日	水	「動物病院スタッフのためのシニアケア講座・第4回」 講師:徳本一義先生 進行:羽金道代先生 担当:伊藤
23日	金	オンラインセミナー「2024年 循環器駅伝:命のバトンを繋げるためのトリプル・セミナー Day 3」 講師:Dr. Lauren Markovic 司会:重田界先生 担当:加藤
24~25日	土~日	JAHA認定家庭犬しつけインストラクター認定試験(筆記・面接)
28日	水	「新人を迎える準備セミナー」 講師:磯部裕子先生 委員:北尾貴史先生、杉崎勝樹先生 担当:伊藤、千葉